

東京ケーブルネットワーク株式会社 放送番組審議委員会議事録

開催日時 平成27年5月25日
(16:00~18:00)

開催場所 東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員長 (荒川区) 小泉定弘
委員 (文京区) 渡辺泰男、野堀勝明
(荒川区) 齋賀靖佳
(千代田区) 中村建夫、林勇

(委員総数：6人)

当日出席委員

小泉定弘、渡辺泰男、齋賀靖佳、中村建夫、林勇

(出席委員数：5人)

当日欠席委員

野堀勝明

(欠席委員数：1人)

東京ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役社長執行役員	棟田和博
取締役常務執行役員	藤田幸久
制作部次長	瀬間健司
制作部業務グループ長	大野寛子
制作部番組・編成担当	松尾遼
TCNキャスター	佐藤圭一
事務局（書記）	堀口麻琴
	三山巖
司会・議事進行	田畑めぐみ

議事内容

1. 委員会開始の挨拶、出席者紹介、番組審議委員、配布資料説明
2. 社長挨拶（棟田社長）

当社の取り組みについてご報告

- (1) 現在のデジタルテレビが4Kを中心に変わっており、また最近では静止画から動画になってきている。このように、映像、通信が変わってきており、当社では光ケーブルにしないと大容量の情報を送れないため、将来を見据え、文京区・荒川区で光ファイバーによるFTTH（Fiber To The Home）化の工事を進めています。千代田区については、地下ケーブルがほとんどのため工事が難しく、したがって文京区、荒川区を先行しています。
- (2) 弊社の企業理念は、地域の皆様に役立つ、また欠かせない情報を届けることを掲げています。10、11チャンネルの放送についての皆様の貴重なご意見、ご要望をお聞きしたいと思っています。

3. 制作部の取り組みについて（藤田常務）

弊社のコミュニティチャンネルでは、地域との絆づくりを中心に進めています。

- (1) フォトコンテストを進めており、今年も行う予定です。昨年趣向を変え、またエリア外の方も応募可能に変更しましたところ、応募数も増え、レベルもアップしました。
- (2) 三区の親善野球大会を行いました。一回目に比べ、二回目は、参加する小学生が受験に忙しく大変である状況を聞きましたので、日程なども調整し、存分に楽しんでいただきました。
- (3) 弊社サービスブックの内容を改訂し、地元密着メディアとして地域を元気に明るくするという方針のもと、進めています。最近父兄の方が熱心にスポーツを指導しているため、今年の5月は、野球だけでなく、バレーボール大会も弊社主催で進めました。弊社で賞品なども用意した結果、子供たちの励みにもなりました。今後もこのような地域団体とのつなぎ役となっていきたいと考えています。
- (4) データ放送をリニューアルしました。三区のそれぞれの情報を個別に放送できるようになりましたし、防災行政無線をテレビで聞くサービスについても力を入れています。
- (5) 生放送も充実させています。5月には、神田祭も12時間以上続けて生放送しました。

4. 制作部のより細かい取り組みについて（瀬間）

委員の皆様への報告事項

- (1) 放送法上、問題なものとして、光点滅が用いられた番組がありました。これにつき行政指導を受けましたので皆様に報告します。総務省には、再発防止とその対策を報告しました。
- (2) 昨年の委員の皆様から指摘いただきました内容について、改善した点をお伝えします。
 - ① データ放送で気象情報をより細かく見られるようにしました。
 - ② 防災行政無線をテレビでも聞けるようにするべく実証実験に取り組んでいます。テレビで

モコンを操作すると、テレビでも聞けるようにしています。実験は6月末まで行う予定です。

③芸術面での番組展開について積極的に行うように指摘を受けた件ですが、映画作品のコンクールを行っている団体と連携し、応募作品を番組で放送してもよいと了承を受けたため、7月から放送予定です。

④番組をもっと見せる工夫についての指摘がありましたが、若い人がよく見るスマートフォンなどで展開されるツイッター、フェイスブックなどを使いまして、先日の中継についても告知を促進しました。

5. 番組ガイド誌について（大野）

(1) 「あらぶんちょ通信」ですが、多チャンネルインターネットサービスなど弊社からのお得な情報も掲載しており、昨年5月からは、テレビ加入者以外にも配布しています。

(2) 番組ガイド誌についても本年4月号よりリニューアルしました。

①「あらぶんちょ通信」については、地域情報をより読んでいただきたいため、前面に移動しました。

②日割りの番組表にBSを追加しました。

③番組の見どころなどをわかりやすく掲載しています。

④町会見聞録を本年4月より発行しました。弊社が地域に貢献できることとして、地域（町会）の情報を発信することが大事と考えて発行しました。今後も地域ごとに町会長のインタビューを掲載する予定です。

6. 番組の方針について（松尾）

(1) 現在データ放送のリニューアルを行っています。

①トップページを変更し、メニュー画面がすぐに出るように改良しました。

②町会の情報をデータ放送で掲載していますが、これまでのインターネット接続の条件をなくし、接続しなくてもご覧いただけるようにシステムの変更を行いました。

③防災行政無線をテレビで聞けるようにしました。リモコンの黄色ボタンを押すことにより、テレビから流れてくるようになります。

④実験段階ですが、時間、地域のニュース、天気などを表記できるようになります。

(2) 番組については、生放送に力を入れており、昨年度は文京つつじ祭り、文京菊まつり、寒中禊、

東京ドームで開催されたふるさと祭りなど計5回生中継しました。今年も更に進める予定です。

(3) 高校野球の東東京大会に出場するチームの紹介、江戸川区球場での試合中継を行いました。今年度についても、同じように力をいれていく予定です。

※ ここで実際の映像、フォトコンテストの受賞作品を起用したイメージCM、データ放送を実際に見ていただく。

7. 各委員からのご意見・ご要望

小泉委員長

あらぶんちょ番組欄を見て、神田祭の生中継などを行うようなことは、フットワークの良いケーブルテレビならではと思う。実際見て参加してみたいと思ったはず。ダイジェスト版も見ましたが、大きなイベントで、放送する意味のあることと感じた。

ケーブルテレビは身の回りのことを映されるという意味で、身近な存在。親近感を持てる。

会社理念について、最近番組を見ててこれがまさに遂行されているように感じた。

地域のみなさんの要望に応えるような方向に進んでいるように感じた。今後も応えていくことが大事。

中村委員

神田祭については、長いこと中継していただいて感謝している。

祭りの準備として、連合をまとめたり、人をまとめたりと大変でした。終わってからいろいろな大変だったが、映像にしてもらいよかった。出演する立場なので見ていないが、映っていたと指摘は受けましたので反響はあったと思う。ダイジェストで見たいと思っている。

他の番組を見ていて、出演者についてよく検討された方がよいと思う人がいる。今後よく考えていただきたい。

斎賀委員

老人会をNPOで立ち上げたのは荒川区のみ。高齢化が悩みである。人口減についての問題もある。

老人会の加入率も減っており、町会の加入者についても同様。

防災行政無線への取り組みについて、区の情報はとても大切なので、これは進めて欲しいと考えている。

渡辺委員

①防災行政無線については、聞こえが悪いことが問題であると感じていた。これがテレビで聞くことができるというサービスができれば、皆さん、特に弱者である高齢者が安心すると思う。

②町会見聞録は、いろいろなところにあったと感じたが、部数は多ければ多いほど良いので、コストは

かかると思うが、今後も続けてほしい。

- ③毎年秋に行われる税を考える週間行事というものがあるが、税についての知識を深めていただきたく、また滞納もあるので、税に対する知識を深めてもらえるような番組を今後放送して欲しい。
- ④4年に1度の文京区の区長選挙について、今後も特別体制で放送して欲しい。私の周りで楽しみにしている人がいる。今後は出口調査などもしていただきたい。

林委員

- ①防災行政無線は、インターネットなどに弱いお年寄りには心強いのでぜひ本格運用をお願いしたい。
- ②神田祭の生中継はよかったし、周りからいろいろ話も伝わってきた。今後も生中継は続けて欲しい。
- ③町会長見聞録では、話しきれないくらい言いたいことがあったので、他の町会長さんからもぜひ話を聞いて欲しい。いろいろな地域の困りごとなどを聞けると思う。(補足：7月号にインタビュー掲載)

8. 防災行政無線への取り組みについて (藤田)

この件は、随分と反響があり、メディアからの取材もいろいろある。これまでであったようではなかったサービスなのでぜひ実現したい。

9. 閉会の挨拶 (棟田社長)

情報を得る手段はいろいろあるが、やはりテレビが一番簡単であることは事実です。高齢者は、スマートフォンやインターネットに苦勞しているのが現状であると思います。テレビのこの利点を生かして、地域に役に立てる番組、情報をお届けしたいと思っています。

本日はありがとうございました。

10. 欠席の委員からの書面によるご意見

野堀委員

- ①最近メルマガを定期的に配信するなど頑張っているように見受けられる。このような地道な活動により、登録者が増える→番組の認知度向上→視聴者数増加→番組の質向上につながる、このようなサイクルを作ってほしい。
- ②昨年も指摘したが、まだE P Gの情報が少ないと感じる。新聞で伝えることができない以上、番組内容の告知にはE P Gが不可欠なので、せめて自主番組だけでも、コストや労力をあまりかけることなく(あまりかけると続かないので)進めてほしい。
- ③神田祭、とても良いと思った。このような放送をしたという事実も各方面に発信してほしいと思う。
- ④視聴者の実態を知る努力が必要と思う。高齢者なのか、親子なのか、それがわかれば情報配信やコンテンツなどに役に立つはず。問い合わせ件数の分析、プレゼント応募状況などから分析してみてはどうか。

以上